



啓発用パンフレットを配布する富岡市長

11月14日
**青少年健全育成
街頭キャンペーン**
熊谷駅コンコースで、市民皆さんが青少年の健全育成に対する責任を自覚し、「熊谷の子どもは熊谷市民が守り育てる」という意識を高めるための街頭キャンペーンが実施されました。



11月20日
**インバーカーギル市長一行
市長表敬訪問**
ニュージーランドの姉妹都市インバーカーギル市から、ティム・シャドボルト市長(後列左から3人目)一行が熊谷市を訪れ、市長を表敬訪問しました。一行は、市内を視察後、22日に帰国しました。

富士見中学校陸上部



吉岡中学校ラグビー部

11月30日
**県立熊谷女子高校陸上競技部
市長表敬訪問**
11月12日に行われた高校駅伝埼玉県予選会で県立熊谷女子高校が優勝に輝き、12月24日に行われた全国高校駅伝への出場を市長に報告しました。



11月21日
**富士見中学校陸上部・
吉岡中学校ラグビー部市長表敬訪問**
富士見中学校陸上部が第74回埼玉県駅伝競走大会で準優勝し12月3日に行われた関東大会出場を、吉岡中学校ラグビー部が平成18年度埼玉県中学校新人体育大会での優勝を、それぞれ市長に報告しました。



11月14日
**県民の日 児童・生徒
お茶に親しむ会**
星溪園で、県立熊谷女子高校、県立熊谷西高校、熊谷市立女子高校の茶道部の生徒によりお茶会が開かれました。



11月25日
植栽ボランティア活動
富士見中学校の生徒が、市民ボランティアであるフラワーキーパーさんの指導を受け、コミュニティひろばや市役所通線等の歩道の花壇に、パンジーの苗を植えました。

11月17日
国営大里農地防災事業完工式
大里用水の機能回復、災害の未然防止等を目的として、長年にわたり行われてきた事業の完工を記念して、大里生涯学習センター「あすねつ」で行われました。



謝辞を述べる富岡市長



11月23日
消防フェア
「見て・ふれて・楽しく学ぼう」をキャッチフレーズに、熊谷地区消防本部で消防フェアが行われました。



スポレクフェスティバル



産業祭

11月18・19日
**第2回熊谷市産業祭・
第2回熊谷市スポレクフェスティバル**
熊谷スポーツ文化公園内で行われた産業祭は、市内の商・工・農業が一同に会し、盛大に開催されました。また、同時開催のスポレクフェスティバルでは、参加者が日頃の練習の成果を存分に発揮しました。



11月12日
**熊谷市合併記念
ベートーヴェン「第九」演奏会**
熊谷文化創造館さくらめいとで、総勢363人が出演し、熊谷市合併記念「市民手作りの第九演奏会」が開催されました。



11月11日・12日
第3回男沼文化作品展
男沼公民館で第3回男沼文化作品展が、出品者90人、150点の作品を集め開催され、多くの見学者が訪れました。

おたのしみパレット

市報クイズ11月号の応募で寄せられたご意見を紹介します。

テーマ 熊谷の冬を楽しむ

- 各地のイルミネーションがきれいです。特に、私が利用する籠原駅の南口のイルミネーションは年々きれいになるので楽しみです。(30代・女性)
- 津田にある健康スポーツセンターで、トレーニングをしたりお風呂に入ったりして、1日過ごします。(30代・男性)
- 早朝、冷たい風の中を、ネギ畑やブロッコリー畑を見ながら利根川の土手を散歩するのが楽しみです。(50代・女性)
- 妻沼の聖天様の初詣です。1年の無事を祈ってお参りし、だるま市でだるまを買い、いなり寿司を買って家族で食べるのが楽しみです。(60代・女性)

- 熊谷ラグビー場でのラグビー観戦です。以前観た12月の試合で、風がとても強く「ああ、熊谷にいるんだな」と実感しました。(40代・男性)
- 久下橋を大里地区に向かって正面に見える雄大な富士山が、一番の楽しみです。晴天の日の朝が一番です!(60代・女性)

「寒い冬でも積極的に外へ出て楽しもう」というご意見が大半を占め、熊谷の夏の暑さに加え冬の寒さにも負けない、元気な熊谷市民を感じることができました。
市ホームページ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>でも、更に詳しく紹介しています。

裏

答え
住所
氏名
年齢
電話番号
今月のテーマ
卒業シーズンの思い出

応募総数68通中、正解66通

表

熊谷市宮町二丁目47番地1
熊谷市役所
広報広聴課 まで

《応募方法》ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマについてのコメントを記入の上、1月24日(水)までにご応募ください(1人につき1通)。(Eメールアドレス) kohokocho@city.kumagaya.lg.jp

《11月号の正解》

①イ(彩の国くまがやドーム体育館)
②ウ(インバーカーギル)

《今月号の問題》

次の□に入る言葉を、それぞれ答えください。
①ラグビーの安藤栄次選手の座右の銘は、□するものだけにチャンスはある。です。
②2月7日(水)に星川通りで□市が開催されます。

《今月の景品》

水圧による全身マッサージが好評の、「リフレサロンAQ U.A.アクア」ティアラ215階)ご提供の「マッサージ券」を、正解者の中から抽選で10人に差し上げます。

今月のテーマ「卒業シーズンの思い出」についていただいたコメントは、市報や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

31 市報くまがや 平成19年(2007)1月

夢追い人 情熱世代



酒母の糶入れをする清光さん



飲まれる方を幸せにする酒造りを

杜氏(酒造り職人)

清光雄 嗣さん
(拾八間出身)

杜氏となるきっかけ

20歳の時、バンドでベースを弾いていました。近所に迷惑をかけずに練習する場所を探していたところ、三ヶ尻に「造り酒屋」があることを知り「酒蔵で練習させてください」と権田酒造を訪ねました。蔵は貸してもらえず、アルバイトに誘われました。当時(昭和63年)熊谷ではさいたま博覧会が開催されていて、会場でお酒を売りました。笑い話のようですが、それが私の酒屋で働き出したきっかけです。

その頃は、毎年11月から翌年の3月にかけて、新潟から杜氏さんたちが5人程で来て、1年分のお酒を造っていました。寒中、彼等が一生懸命にお酒を造る姿をみて、「こんな世界があつたのか」と驚きました。最初は蔵にも入れてもらえませんでした。年を重ねるとにだんだんと打ち解けていき、酒造りも見せてもらえ、見よう見まねで手伝い始め、最後には「お前がやれ」と教えてもらいました。

杜氏となつて

平成11年の秋から、私が親方となりお酒を造っています。私は、普段から自然と触れ合うことにこだわっています。休日も釣りに行ったり、庭で花や野菜を育てたり。自然が囁きかけると思っています。お酒も生き物です。習熟した技術で微生物の働きをコントロールしつつ、麴や酵母の泡立ちから、聞かえてくるかもしれないお酒の声を聞き逃さないように心掛けています。

今季は、昨年の11月10日に新米を研ぎ、酒造りを始めました。今は酒造りの真っ最中です。寝ても覚めても、24時間お酒のことが頭から離れません。蔵の中に籠り、生き物であるお酒と向き合っています。確かに、寝不足と疲労が重なり、つらいと感じることもあります。しかし、お酒は「人と人を結ぶすてきなしずく」と思っていますから、常に飲まれるお客さんの幸せな気分を想像しながら、酒造りに励んでいます。

地場産農産物で Oh!フレッシュ クッキング

今月の料理人は男沼の
飛田 公江さん

●お正月のおせち料理にいかがですか ヤマトイモのきんとん

■材料(6人分)

ヤマトイモ	400g	白いんげんの甘納豆	
酢	大さじ1		200g
塩	少々	バニラエッセンス	
砂糖	200g		少々 (ヤマトイモのくさみ取り)

■作り方

- ①ヤマトイモの皮をむき、ぶつ切りにし酢水につけて30分くらいアク抜きする。
- ②①を洗ってぬめりをよく取り、たっぷりの湯で柔らかくなるまで茹で、ザルにあげて熱いうちに裏ごしをする(冷めてからだと裏ごしができないので必ず熱いうちにします)。
- ③②に砂糖と塩少々を入れ充分に混ぜてから火に

かけ、焦がさないように練りあげる。最後に甘納豆とバニラエッセンスを加え良く混ぜ合わせて出来上がり。



農業振興課 内線442

一言アドバイス

なめらかな舌ざわりが自慢のきんとんです。砂糖を控え、甘納豆の替わりに缶詰めパイ(1cm角×4枚分)を加えて洋菓子風に仕上げてもおいしく召し上がれます。残った生芋は、すりおろして冷凍保存ができます。

健康づくり課
528-0601

人口と世帯 ●平成18年12月1日現在(対前月比)

■人口 194,685人(+66) 男 97,601人(+98) 女 97,084人(-32) ■世帯 75,182世帯(+139)

「市報くまがや」は、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター・出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧になれます。(URL) <http://www.city.kumagaya.lg.jp/> 「市報くまがや」は毎月1日(原則)に発行します。